

「人権」ってなあに？ 身近になくて分からない？

——いやいや、身近なところにたくさんあるんですよ。  
要は「気づいていない」だけ。

だからこそ、そこにある人権に気づくことが大事になってきます。

この通信は、人権についてのトピックスを紹介し、

人権について考える「きっかけ」を<sup>ま</sup>時いていきます。



人と人が面と向かって互いに意思疎通をする——それが一般的です。苦手な人・気持ちが通じない人などのように付き合おうか、と学生時代に悩んだものです。

しかし、SNSにおける人間関係が「普通」になりつつある現代。もしかして、スマホを手にしながら頭を悩ませている人もいるのではないか。どうか。

それについて、元AKB48の板野友美さんは、インタビューで次のように語っています。

# 顔と顔を付き合わせないSNSは人権を考える「出発点」？



第1号

2018年  
11月1日

【文責】  
人權・同和教育  
担当：長友

ツイッターは2010年から使っていて、フォロワーは200万人以上。いち早く情報を伝えると、すぐに感想をもらえるのが便利です。14歳、AKB48でデビューしたときはガラケー。情報発信は、この10年ですごく変わりました。

「炎上」ということもあります。ネットの内容がいいのか悪いのか、本当かそうでないかを判断すべきだと考えます。ネットで攻撃したとしても、その元の内容が正しかつたら、その攻撃者（発信者）は被害者にもなりえるからです。

（7月16日付「朝日新聞DIGITAL」要約）

---

指先一つで簡単に伝える」んは訴えています。SNSは人とができます——そんなSNSだからこそ、「相手がどう思う」権を考える身近な「きっかけ」なのかもしません。あなたの発信は大丈夫ですか？

（略）であります 私は以前の仕事をしていながら（像）よく言葉を書き込までも）ある程度はしようがないというか、良くも悪くも愚くも、みなさんにさらされている面があります。でも、そうではない子どもたちが、例えば、学校の誰かが書いたのかわからぬネット掲示板で乱暴な言葉をぶつけられるようなことは、一番避けなくてはならない。誰もが簡単に発信できるからこそ、言葉に責任をもつことは、大変だございます。

指先一つで発信できる反面、文章のニュアンスが難しいです。  
柔らかく言つてゐるつもりでも、文章にすると少しきつい感じること  
があります。そんなとき、私は絵文字をつけて気持ちを伝えやす  
くしたり、真剣なときは逆に絵文字を付けなかつたりしています。

ツイッターは2010年から使っていて、フォロワーは200万人以上。いち早く情報を伝えると、すぐに感想をもらえるのが便利です。14歳、AKB48でデビューしたときはガラケー。情報

【ご家庭から】学級担任にお渡しください。

第1号

年 組／お名前

(ペンネームでもOKですよ！)

◆書いていただいた内容を、この通信で紹介してもよろしいですか？（〇・×）